

第12回 K. CATフォーラム

北陸新幹線金沢開業後における 北陸地域連携を考える

北陸三県は、10万～50万人規模の都市が連担した細長い接続型の地域で、豊かな自然環境と歴史、多彩な文化を有しています。

中核的な都市を持たない本地域が、その特色を活かし、それぞれの地域が活性化していくには、歴史的にもつながりの強い三県が多くの分野で連携することが不可欠です。

また、2014年度末には、北陸新幹線が金沢まで開業することが予定されており、ますます地域連携の必要性とそれによる活性化の期待が高まっています。

そこで、今回は「観光」を切り口として、福井、石川、富山の地域連携のあり方を探ります。

フォーラムの流れ

13:30 開会挨拶・主旨説明（10分）

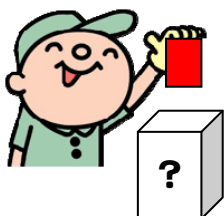
13:40 北陸連携観光プランの提案（45分）

- A 北陸の祭り・イベントをめぐる旅／埴正浩
- B 北陸の食と農めぐり ～ターゲット絞り込み戦略～／北原良彦
- C 北陸の山岳信仰〈白山・立山〉のルーツを訪ねて／西村光
- D 日本海・北陸の自然を満喫するドライブツアー／鈴木邦夫
- E 公共交通とクーポンで巡る北陸州の旅 ～手ぶらでどーぞ～／不破正人

K. CATのメンバーが北陸新幹線金沢開業後の2015年を想定して、首都圏からの2泊3日の旅を提案します。どのプランが面白そうでしょうか！



14:25 投票&休憩（15分）



5つの観光プランのうち、「首都圏の人にぜひ勧めたい」、「北陸一体となって魅力をアピールできている」と感じたプランはどれでしたか？

- 1番よかったと思うプランに 赤色の投票用紙（2点）
 - 2番目によかったと思うプランに 青色の投票用紙（1点）
- を投票してください！

14:40 パネルディスカッション（80分）

16:00 閉会

赤・青・黄のカードを使って、会場の皆さんにもご意見をお聴きします！



パネルディスカッションの出演者のプロフィール

●コーディネーター

高山 純一 金沢大学環境デザイン学系教授、K. CAT代表

金沢生まれの金沢育ち、大学も金沢なので金沢以外に住んだことがない生粋の金沢人です。普段は外部の委員会や協議会などの関係で自動車利用が多いですが、極力、飲み会を増やして電車、バス通勤に努めています。交通まちづくりを研究テーマとして、頑張っています。

●パネリスト

川上 洋司 福井大学大学院工学研究科建築建設工学専攻教授、福井地域環境研究会（REF）

愛媛県西条市で生まれ、東京、横浜、そしてフィリピンを経て、福井に居を構えました。以来20年余り、当初は気候風土の違いに多少の違和感がありましたが、今はきらりと光る北陸の町々の良さを実感しながら楽しくまちづくりや交通関係の計画づくりに関わっています。

長尾 治明 富山国際大学現代社会学部現代社会学科経営情報専攻教授

岐阜生まれの岐阜・大阪・東京・富山育ち。授業と学内運営業務以外は外部の委員会や審議会などで東奔西走しています。日々、人との出会いを大切に、「この巡り合い未来(あす)に活かす」をモットーとしています。研究テーマは「マーケティング、観光、まちづくり」です。

●コメンテーター

大寺 伸幸 国土交通省北陸地方整備局企画部長

北海道出身。青春時代は北の大地で過ごしました。その後、建設省（当時）に入省し、2008年に北陸に着任し3年目に入りました。北陸はお酒と食べ物がおいしく、季節の移り変わりを肌で感じることができ、暮らしやすさ日本一と言われるのがわかった気がします。趣味は旅行と山登り、温泉巡り、その他いろいろです。

主催：K. CAT（金沢の都市と交通を考える会）

<http://www.k-cat.jp/> E-mail: info@k-cat.jp

K. CATのこれまでの提案内容や提言書などをHPに掲載しています。どうぞご覧ください。